

事業所名

放課後等デイサービスともしび

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		「みとめて・ほめて・のぼす」 個々が持つ特性をみとめる（受け止める） 取り組む過程を褒める・挑戦したことをほめる 個々が持つ強み・能力を引き出してのぼす					
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「障害」について正しく理解し、障害のある人ない人も、支える人と支えを受ける人に分かれることなく、共に支え合い、様々な人々の能力が発揮されている活力ある社会を目指す。</li> <li>2. 「みとめて・ほめて・のぼす」の理念のもと、生活能力、社会への適応能力の向上を目指す。</li> <li>3. 将来自立した生活を送ることができるように、また進路の選択肢が広がるように、可能性を見出して伸ばしていく。</li> <li>4. 児童を取り巻く環境（学校・ご家庭・地域）に積極的に介入し、児童が主体となるよう支援する。</li> <li>5. 長い成人期に向けた準備期間である学童期であることを意識し、生きるために必要な力を身につける。</li> <li>6. 地域の一員として、地域に愛され、頼られる事業所を目指す。</li> </ol>					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活に必要な、食事・着替え・排泄・清潔・さまざまな道具の使用など、生活の基本となる生活動作の支援を行います。定期的に提供しているクッキング活動（食事・おやつ）は、材料購入から、食材を切る、煮る、盛り付けるなどの工程に取り組んでもらいます。クッキングを通して、共同作業、役割分担、助け合いといった社会生活に必要なスキルを学び、「おいしい」をみんなで共有して、自己肯定感を高めます					
	運動・感覚	散歩や公園の遊具を通して、基本の運動動作の支援を行い、行動を自分で調節する力を身に付けます。また体を動かすことで、気分転換を促します。創作活動の手先を使った細かい作業や、感覚刺激のあるゲームを通して、手先の微細運動に取り組めます。					
	認知・行動	障害特性や、発達に応じて個々に合わせた方法で、生活の中で必要不可欠な、数・時計・文字の理解を促します。生活の中で、様々な役割を割り振り、自分が取り組む行動を考え実践できる環境を整備します。卒業後の生活環境を見通して、お金の計算や、スケジュール管理、時間を見て動く、予定の段取りの進め方等を一緒に取り組み、身につけていきます。					
	言語コミュニケーション	年齢に応じて、他者とのかわり方・距離感を学んでもらえるよう支援します。障害特性に応じて、個々が持つ発信力を伸ばせるようアプローチします。帰りの会では、毎日の一人一言発言により伝える力を育み、伝わった喜びを共有します					
	人間関係社会性	活動では、積極的に外出し、公共交通機関の体験や、買い物・外食等、社会に触れる経験を通して、将来に必要な経験と社会性を支援します。年齢の近い児童とで、グループディスカッションを通して、自分を振り返る機会と他者を評価する機会を提供します。					
家族支援		安心して子育てを行うことができるよう、日頃から保護者と信頼関係を構築し、年齢とともに変化するお子様や家族のニーズに寄り添い、一緒に支援方法を考えます。			移行支援		入学・進学・就職等で、子どもの環境が大きく変化することも踏まえ、移行先との支援方針・内容の共有や、お子様の状況・家族の思い等を引き継ぎ、スムーズに環境に移行できるようサポートします。
地域支援・地域連携		家庭生活の支援に関わる福祉・教育・医療等の関係機関や障害福祉サービス等事業所を連携し（積極的なサービス担当者会議の参加等）、支援を進めていきます			職員の質の向上		定期的な事業所内研修、法人内研修、外部研修を通してスキルの向上を目指します。また、年間3回の面談を通して、キャリアアップを支援員と確認し、モチベーションに繋がります。
主な行事等		避難訓練、季節に応じた活動、社会体験、工場見学、外食体験、公共交通機関体験、地域のお祭り参加、学校行事の見学等					